

緩和ケアとは、患者やその家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさをやわらげ、よりゆたかな人生を送ることができるように支えていくケアである。  
最期のケアではない。早期から緩和ケアを受けたほうが長生き出来るというデータもある。

# 市民公開講座 最期まで目一杯生きる



**講師** 萬田 緑平 先生  
(緩和ケア診療所・いっぽ)

在宅緩和ケア医。1964年生まれ。群馬大学医学部卒業。群馬大学附属病院第一外科に所属し、外科医として手術、抗がん剤治療などを行うなかで終末ケアに関心を持つ。2008年、医師3人、看護師8人から成る「緩和ケア診療所・いっぽ」の医師となり、常時、外来と在宅を合わせて80人ほどの終末期の患者を担当。休日は在宅緩和ケアを広げるための講演活動を積極的に行っている。NHKあさイチ「櫻井翔が見る終末期医療の現場～緩和ケアの今～」で紹介される。著書に「穏やかな死に医療はいらない」「家に帰ろう 在宅緩和ケア医が見た旅立つ命の奇跡」がある。

## 【講師からのひとこと】

終末期医療。体はもう治らない。死に向かって行く。医療を中心に立ち向かうと必ず失敗に終わる。その人の人生も「残念でした」と終わる。一分一秒でも長生きしてもらいたいと言う家族の希望の先には、満足はない。

唯一の家族が満足する方法は、本人が満足すること、本人の最後の願いを叶える事だと思う。治す医療から離れて、「本人の願いを叶える方針」にすると、人生を成功に終える事が出来るのです。そんな事があることを知ってもらいたいです。

**日時：2015年3月26日(木) 19:00～21:00**

**場所：県生涯学習センター 4F 第一研修室**

**主催：群馬県保険医協会**

**後援：群馬県医師会、前橋市医師会、前橋市歯科医師会、前橋市**

**参加費：無料（どなたでも参加できます）**

※定員は120名です（申し込み先着順）。

参加をご希望の際は、裏面の申込書に記入してFAXいただくか、群馬県保険医協会事務局（027-220-1125）までお電話ください。

## 【問い合わせ先】

群馬県保険医協会事務局 〒371-0013 前橋市西片貝町4-12-25-103  
TEL:027-220-1125 FAX:027-220-1126